



TITLE:

論文・レポートの基本:みなさんと一緒に考える論文作法<レポート執筆講座 (文系レポート)>

AUTHOR(S):

包, 福升

CITATION:

包, 福升. 論文・レポートの基本: みなさんと一緒に考える論文作法<レポート執筆講座 (文系レポート)>. 2019


ISSUE DATE:

2019-06-24

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/252416>

RIGHT:

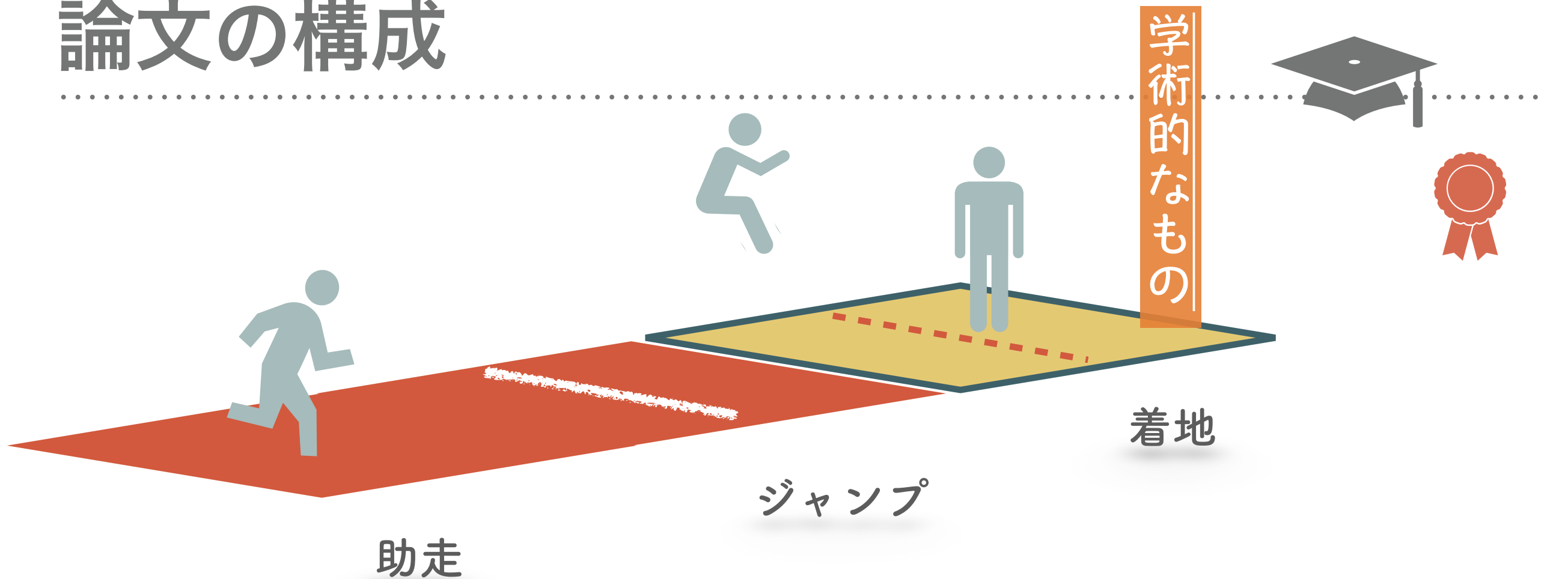


論文・レポートの基本

みなさんと一緒に考える論文作法

教育学研究科M2 包 福升

論文の構成



序論

- ◆ 問いそのもの
- ◆ オリジナリティ
- ◆ 答える道筋

三つのことを示す

本論

- ◆ 結果と分析
- ◆ 考察

データや結果、
推論などの提示

結論

- ◆ 研究全体のまとめ

読者に配慮した要旨

論文六つ揃えが原則だが、
レポートは要判断

序論

①問う

目的 (Introduction)

自分の研究で明らかにしたい問いを示す

②調べる

先行研究 (Introduction)

関連する先行研究を紹介し、本研究のオリジナリティを示す

③選ぶ

資料と方法 (Material and Method)

問いを明らかに論証するためのデータの概要と方法を示す

本論

④確める

結果と分析 (Result)

分析を経た調査の結果を示し、問いに答える

⑤裏付ける

考察 (Discussion)

なぜそのような結果になるのか、その理由を考える

結論

⑥まとめる

結論 (Conclusion)

①～⑤の論証のプロセスを要約し、今後の課題を示す

言葉の定義を
明確に～

“
疑問文を含む一文で

絞り込む！

問いを設定しよう

「〇〇について」 = テーマ → 問い
発見 探究心

かれこれ

照らし合わせる

考える

“

助けてもらおう ^_^v

巨人の肩のうえに立つ。

自分なりの先行研究史を組み立ててみて、
そこに自分のささやかなオリジナリティを加える

前提の問い

→自分の問い<絞る>

✕剽窃＝犯罪行為

かれこれ

照らし合わせる

考える



専門性	本（著書）	雑誌（学術誌）	辞典・事典
専門	研究書	原著論文	（なし）
入門	入門書・概説書	調査論文	専門辞典・事典
一般	一般書・実用書	エッセイ	一般辞書



参考文献は、自分の主張を、研究史のどこに位置付け、
どこが新しいかを示すために挙げている。＜勉強量、誠実さ＞

引用は服装のようなもので、
論文はフォーマルな服装が求められるジャンル。

サイト名	概要	注意点
Google	一般的な検索エンジン。幅広い検索が手軽にできる。	ゴミ（ unnecessary 情報）が多く引っかかる。
Google Scholar	研究専用の検索エンジン。研究に関わるもののみをピックアップできる。	日本国内の文献の検索がやや弱い。
CiNii	日本国内の学術論文を網羅するサイト。論文検索と大学蔵書検索分別。	著書と海外の文献の検索に弱い。
NDL-OPAC	資料の検索にも向いてる。リサーチ・ナビは、本の種類や研究分野から検索可	海外の文献の検索に弱い。
各分野の研究機関	分野の代表的研究機関は有益。	その存在が知られていないことが多い。
自分の大学の図書館	所蔵、取り寄せ、依頼購入など。	所蔵冊数に限界。
Wikipedia	基本概念は手軽に知ることができる。 辞書類にWeblioも便利。	オリジナルの情報源が別にあるため、要追跡

選ぶー資料と方法

調査

→ データ

→ 問いの回答

⋮

選

- 量的調査 -

- 質的調査 -

アンケート

事例研究

統計

< 客観性、厳密性 >

量、比較

良質な（典型的）データ

（自分の根拠を持つ / 無作為抽出法）

量、多様

ど
っ
ち
か
自
覚

+

有
効
か
自
問

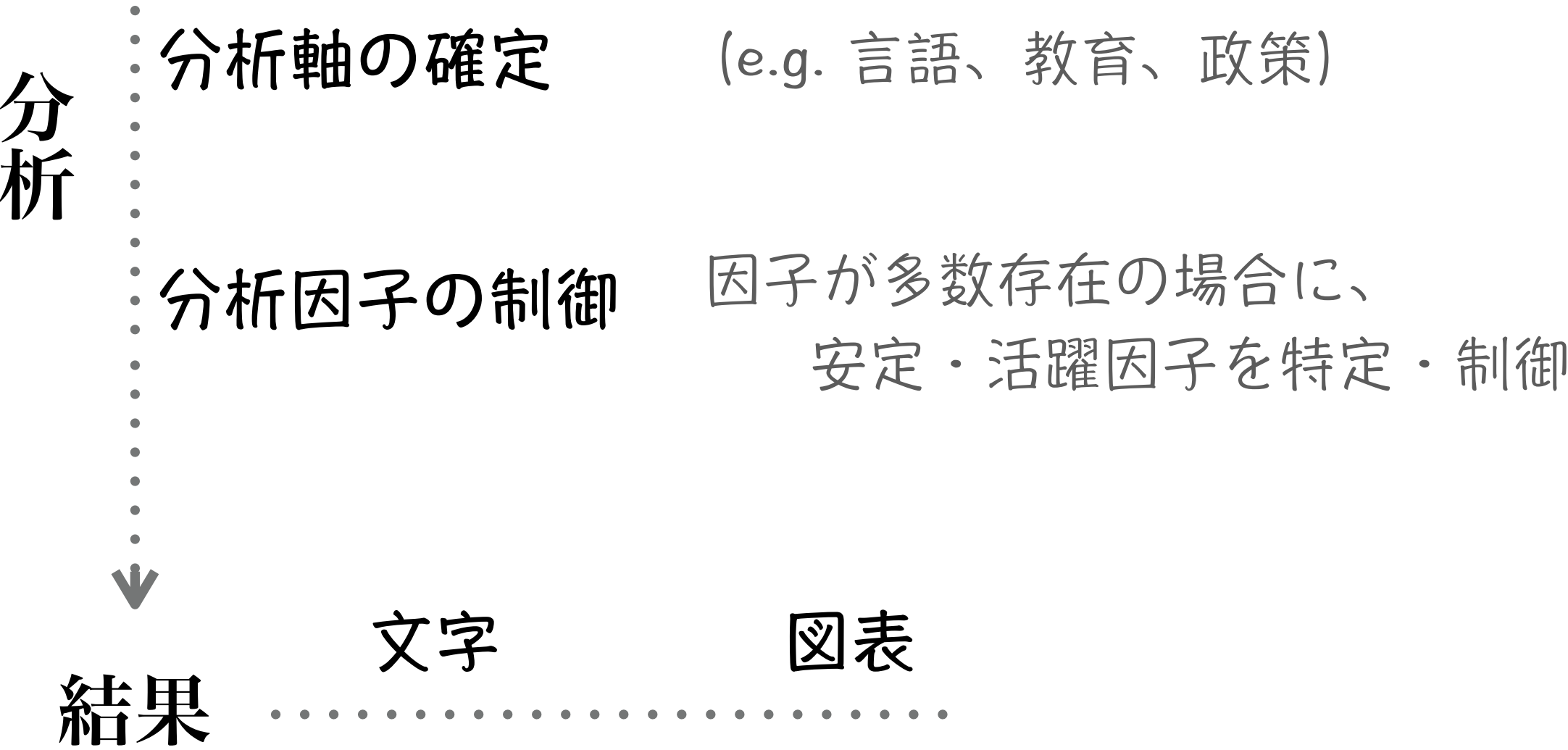
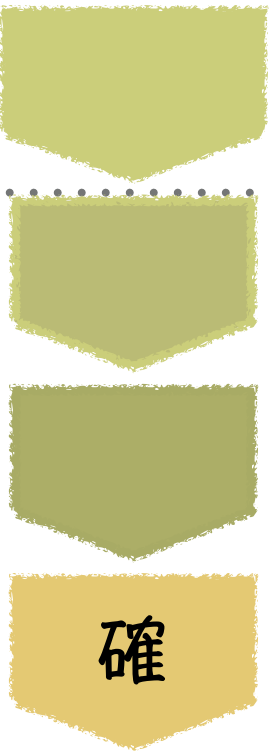
6つの調査方法

調査方法	代表分野	応用
実験	理科系	人を対象にした実験
観察	天体観測	フィールドワーク
内省	哲学	概念の検討
アンケート調査	量的分析	協力者への配慮、パイロット調査、フェイスシート
インタビュー調査	質的研究	(半・非) 構造化インタビュー
文献調査	文学、歴史	一次資料、二次資料



確かめるー結果と分析

自分の立てた問いに対する答えの正しさを、
具体的なデータとともに示すところ。



裏づけるー考察

「結果と分析」で示されたデータの意味を解釈し、
そのような結果が得られたのはなぜか、
その理由を説明し、裏付けるところ。

目に見える現象を手がかりに、目に見えない
メカニズムをあぶり出すプロセス。

データ志向

現象の分類、整理、記述

結果！

モデル志向

メカニズムの抽出

なぜ？→推論

裏付

別の調査実行と
先行研究の収集で 憶測を防ぐ

まとめるー結論

先行の一連の過程を要約したものを書くところ

問いと答えのズシヤヒズを
明らかにしてくれる鏡
(執筆の途中でも活用)

今後の課題は今後の研究の
見通しの概観(opt)

到達点とビジョン

独立した
もの

重複
OK

問

調

選

確

裏付

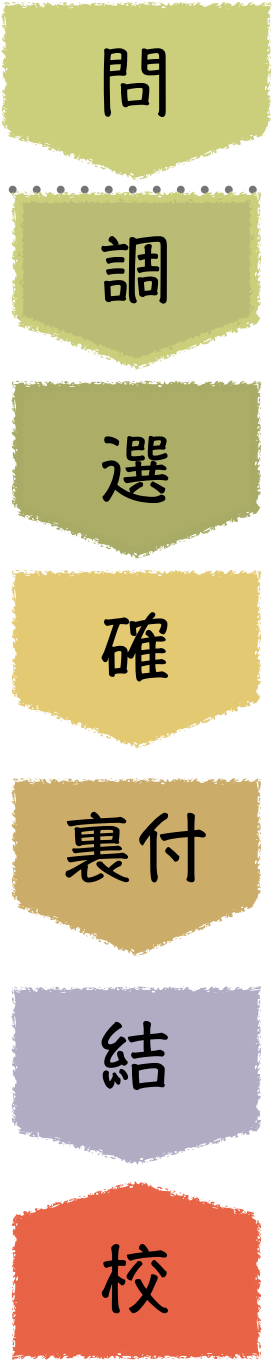
結

問いへの回答含む、
論文の筋が通ってる

校正するー提出前の原稿チェック

校正 5 項目

項目	説明
番号の確認	執筆途中の構成変更
誤字・脱字	変換ミス
表記の統一	例、「行う／行なう／おこなう」
参考文献の照合	引用文との関連 筆者氏名の順番
紙面の見やすさ	字体、空行、段落分け



問

調

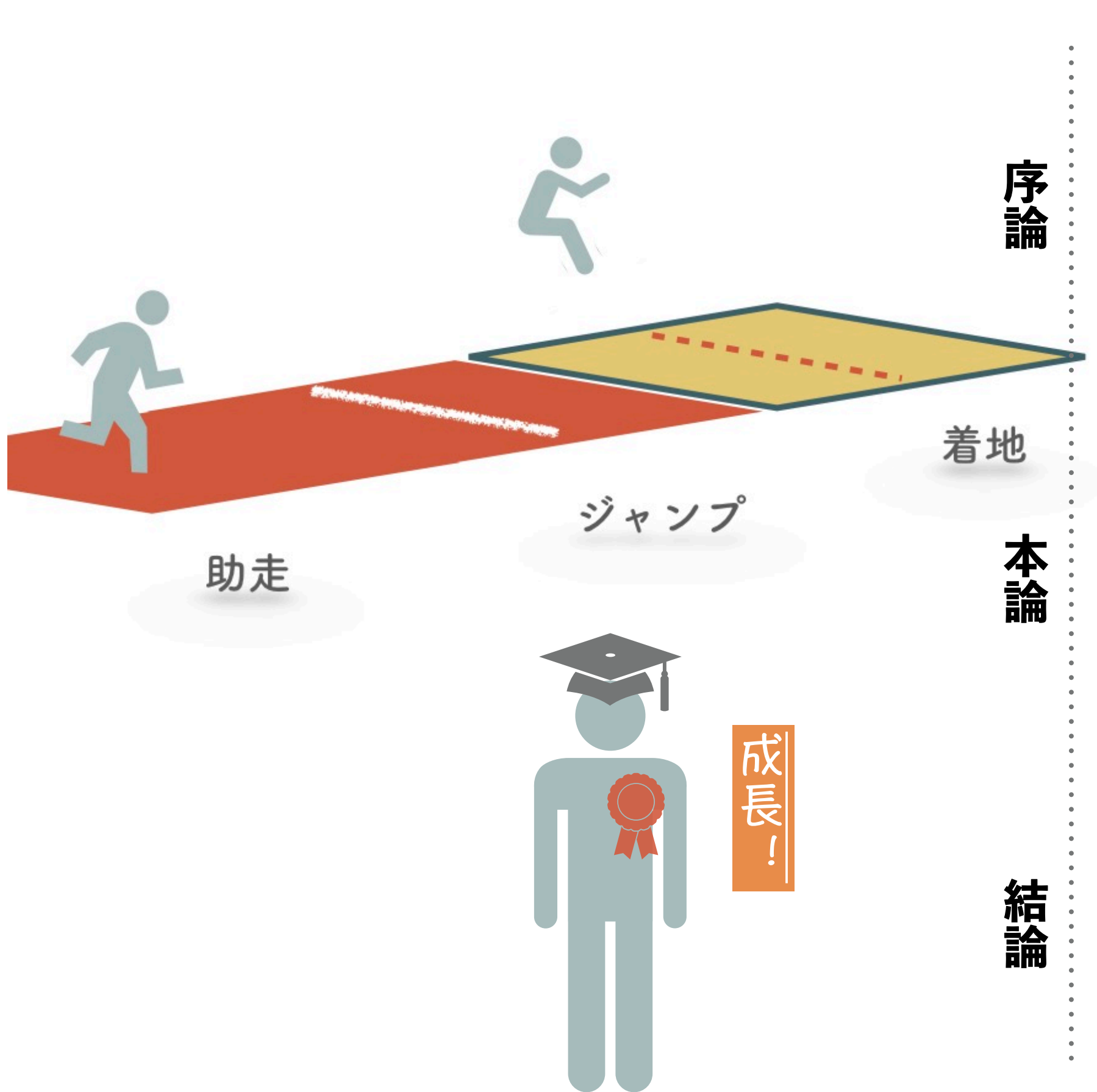
選

確

裏付

結

校



①問う

②調べる

③選ぶ

④確める

⑤裏付ける

⑥まとめる

(校正)

レポート

◆ 序論

- 第一節 問題提起
- 第二節 先行研究
- 第三節 資料と方法

◆ 本論

- 結果
- 分析

◆ ...

◆ ...

段落

■ 結果

- トピック・センテンス(**TS**)

段落の中心的なトピックとそのコメント

- サポート・センテンス(**SS**)

TSを支える根拠や例、引用

- コンクルーディング・センテンス(**CS**)

段落全体のまとめ、TSと強い関連

■ 分析

- TS-SS-CS...

■ ...

今日の内容

.....

参考文献：石黒圭『論文・レポートの基本』日本実業出版社、2012/03。

◆ 論文の表現の基本

- 考え方
- 言葉選び
- 表記

◆ 専用表現・文体・文

- 動詞
- 文末表現
- オトナ語
- 話し言葉と書き言葉

論文の表現の基本—考え方

- ◆ 「正確」／「厳密」である
- ◆ オリジナリティ（originality／独創性）

「これって、本当？」

言葉選び

書き直し、日々の磨き

論理



言葉選び

.....

日常語	専門用語	
和語 (訓読みする語)	漢語 (音読みする語)	外来語 (カタカナ語)
速さ	速度	スピード

例：標高／海拔／高さ

対策：①大学教科書、②専門辞書・事典、
③先生の著書

日常語	専門用語	専門分野
集まり	集合	数学
空気の汚れ	大気汚染	環境学
がん	悪性腫瘍	医学
虫歯	齲蝕	歯学
会社	企業	経営学

言葉選び一語の定義

専門用語の最大の特徴＝定義明確、

書き手と読み手とで理解が一致

新しい専門用語の創出

電車

線路を走る、電力を動力とする乗り物で、移動の手段として使われる公共交通機関である。

列車

線路を走る、長い編成からなる乗り物で、機関車に牽かれている車両を指すことが多い。

正確な表記―漢字と仮名

- ①時間を置いてから読み返す
- ②他人に読んでもらう
- ③自分の思考やパソコンの変換機能の癖を知る

・ 日本語の受け身には大きく分けて「直接受身」と
「関節受身」がある。

間接

・ 異和感を覚える

違和感

・ 壁の高い市に固定式のシャワーがある

位置

専用表現ー動詞

論文の構成	主な動詞
①目的（スル形）	述べる、論じる、扱う、議論する、報告する、紹介する、明らかにする、示す、主張する、提案する
②引用（シテイル形）	①→している、指摘する、言及する、触れる、引用する、紹介する、挙げる、参照する
③調査（シタ形）	調べた、調査した、分析した、検討した、実験した、測定した、観察した、記録した、収集した、使用した
④結果（シタ形）	わかる、明らかになる、見られる、現れる
⑤考察（スル形）	思われる、考えられる、見られる、言える
⑥結論（シタ形）	①「目的」→シタ形

専用表現一文末表現

文末表現の例	表現の問題性
雨が降るらしい／みたいだ	外部情報に基づく推測
雨が降るようだ／ふりそうだ	↓ 書き手の責任逃れ
雨が降るだろう／かもしれない	漠然とした推量 →書き手の憶測
雨が降るはずだ／に違いない	強い確信 →書き手の思い込み
雨が降るそうだ／という	他社からの伝聞 →情報の匿名性

専用表現一オトナ語

文末表現の例

管見の限り

紙幅の関係で

今後の課題／別稿に期したい

明らかである／自明である／言うまでもない

二重否定（○○ないわけではない）

本高／本研究／この論文／この研究

文体一書き言葉

.....

サイト名	話し言葉→書き言葉	
接続助詞	から→ので	
	して→し	したら→すれば
	のに→にもかかわらず	
副詞	しないで→せずに	
	けど→が	
	全然→まったく	一番→もっとも
	多分→おそらく	ちっとも→少しも
接続詞	絶対→からなず	もっと→さらに
	だから→そのため	けど→だが
	それから→また	だって→なぜなら
	でも→しかし	じゃあ→では

文体一書き言葉

主観的な語と客観的な語

超<すごく<とても<たいへん<非常に<極めて

おおざっぱな判断 v s 慎重な判断

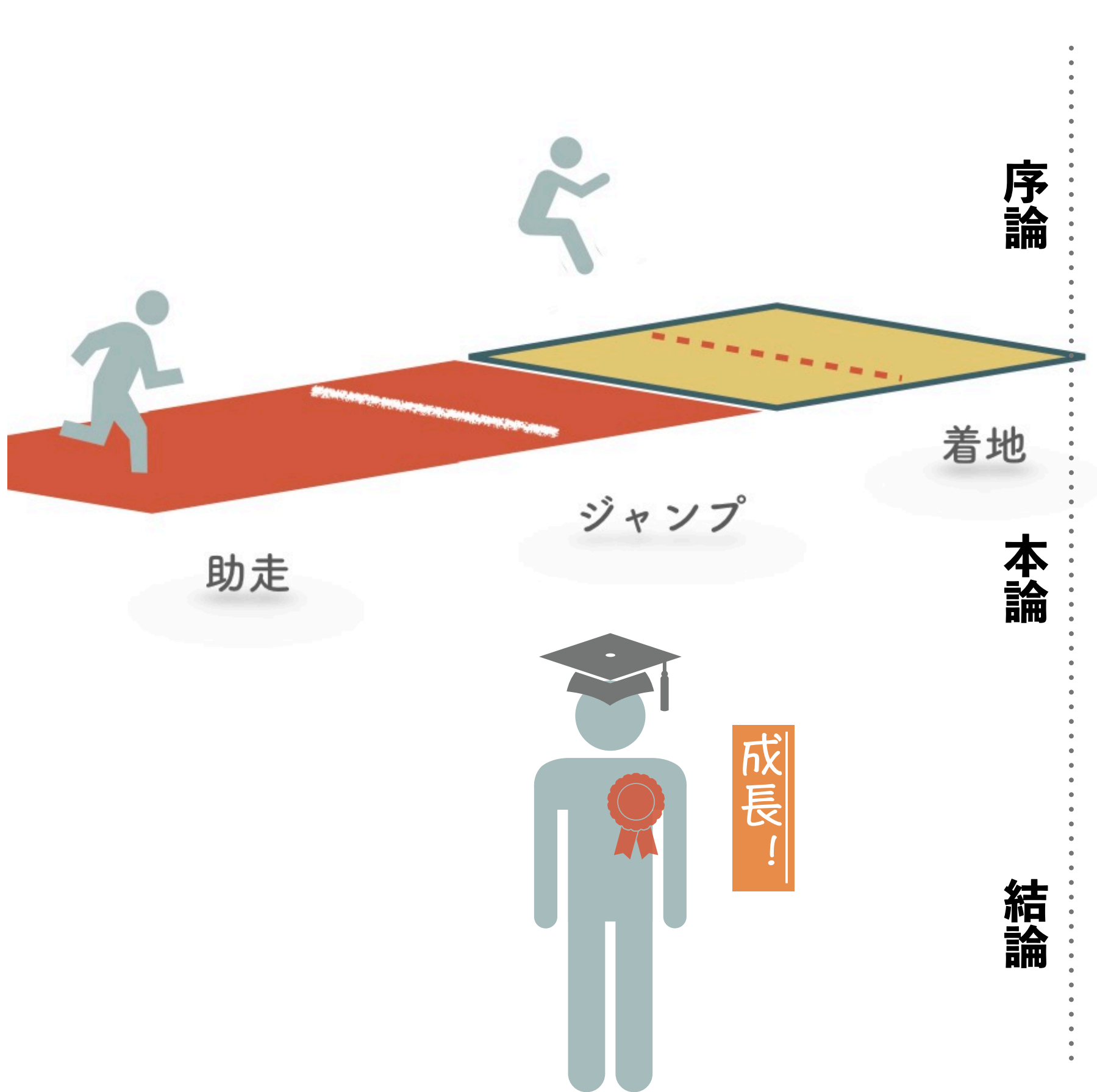
それから、それから… v s まず、つぎに、最後に

書き言葉一名詞

簡潔で厳密な表現

輸出が拡大したことで、製造業が再び多くのものを作れるようになった。

輸出の拡大によって、製造業の生産が回復した
輸出の拡大が、製造業の生産の回復に寄与した



①問う

②調べる

③選ぶ

④確める

⑤裏付ける

⑥まとめる

(校正)



参考文献

石黒圭『論文・レポートの基
本』日本実業出版社、2012/03。

ご清聴どうも
ありがとうございました。